

「新規素材開発調査研究委員会」

2006 年度調査報告書

平成 19 年 3 月 16 日

社団法人 新化学発展協会

ま え が き

(社)新化学発展協会では化学フロンティア事業の一環として、化学を中心とした革新的領域のさまざまな分野における技術課題の発掘と、産業界の発展に貢献するための提言を行うことを目的とした調査活動を行っています。

本報告書は先端化学技術部会・高選択性反応分科会内に設置された新規素材開発調査研究委員会(委員長：佐藤智司)において、平成17年5月から平成19年3月まで行われた、「次世代高効率工業プロセスにおける高選択性反応場実現のための新規高機能触媒材料」をターゲットとした調査委員会活動のうち、平成18年4月から平成19年3月までの結果です。

本調査を行うにあたり、本調査委員会メンバーの所属会社をはじめ、協会会員会社の皆様には多大なご尽力、ご協力をいただきました。ここに感謝いたします。

平成19年3月

(社)新化学発展協会

新規素材開発調査研究委員会

目次

概要(佐藤)

第1章 金属ナノ粒子(村上)

第2章 金属ナノ粒子の構造制御(茂本)

第3章 集積型金属錯体(秋山)

第4章 特殊反応場を活用した新規材料合成(後口)

工業触媒関連新聞記事ダイジェスト

講演会記録

新規素材開発調査研究委員会メンバー